

棋譜分析レポート - cosumi.sgf

概要

対局: COSUMI (Level 1) vs You 結果: 白3.5目勝ち 盤面: 9路盤 コミ: 6.5目 AI分析: KataGo

検出された悪手

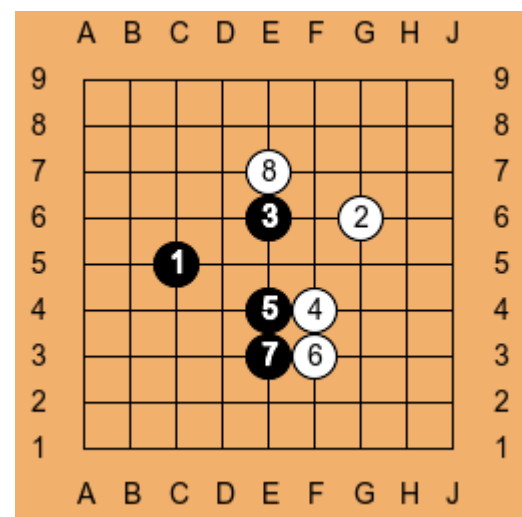
KataGoの分析により、以下の悪手が検出されました（勝率10%以上のドロップ）：

手番	着手	勝率ドロップ	実際の勝率	推奨手	推奨手の勝率
1手目	黒C5	-11.6%	71.1%	E5	82.7%
5手目	黒E4	-11.1%	52.9%	G7	64.0%
6手目	白F3	-27.0%	40.7%	E3	67.7%
8手目	白E7	-39.1%	30.4%	F7	69.5%
9手目	黒D7	-41.8%	37.5%	F6	79.2%
11手目	黒D8	-12.1%	3.7%	F5	15.8%

最大の悪手: 黒9手目 D7

黒9手目のD7は、勝率を**41.8%も下げた**この対局最大の悪手です。

9手目直前の局面



この局面で黒番です。白8のE7に対してどう応じるかが問題です。

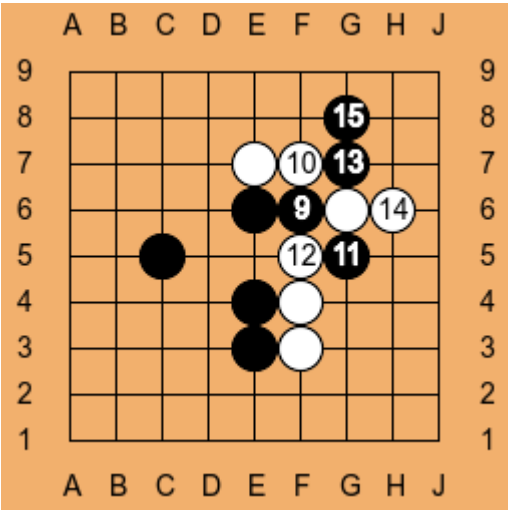
AI推奨手: 黒9 F6

KataGoは**F6**を推奨しており、以下の評価です：

- 勝率: 79.6%（黒優勢）
- 形勢: 黒+1.3目

- **着手確率:** 59.1%
- 推奨手順（F6以降、右上の折衝が終わるまで）：

黒9： F6
白10： F7
黒11： G5
白12： F5
黒13： G7
白14： H6
黒15： G8



解説: F6は白E7とE7（白⑧）の間に割り込む急所です。白の連絡を脅かしながら、黒が右上を制圧できます。白10でF7と守っても、黒11のG5で右上の白G6（白②）を攻め、白が12でF5と受けても黒13のG7で右辺を確保し、さらに黒15のG8まで打てば右上一帯が黒の勢力圏となり、黒が大きく優勢になります。

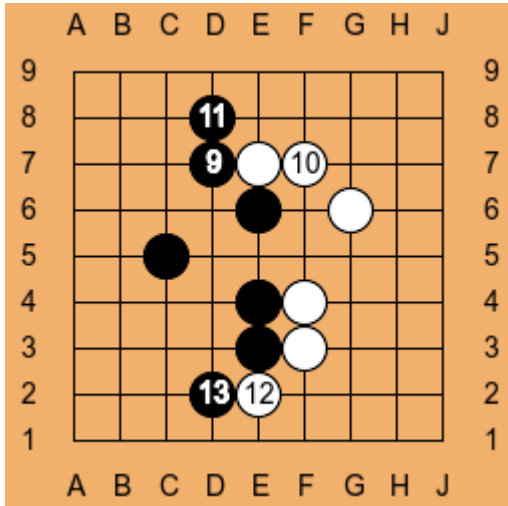
実際の着手: 黒9 D7（悪手）

実際には黒はD7と打ちました：

- **勝率:** 37.5%（白有利）
- **勝率ドロップ:** -41.8%

実際の進行（D7以降）：

黒9： D7（悪手）
白10： F7
黒11： D8
白12： E2
黒13： D2



問題点: D7は左辺を守る受け身の手です。白が10でF7と補強すると、上辺の白石がしっかりつながり、白の弱点が解消されます。黒はD8と左上を守るしかなく、白12のE2で下辺を先行され、形勢が大きく逆転しました。右上で攻めるチャンスを逃し、相手に主導権を渡してしまった典型的な悪手です。

その他の注目すべき悪手

白8手目 E7 (-39.1%)

8手目のE7も大きな悪手でした。KataGoは**F7**を推奨（勝率69.5%）。E7は黒F6と割り込まれる弱点を残し、白が攻められる展開になりやすい手です。F7と厚く打てば白の形が安定しました。

白6手目 F3 (-27.0%)

6手目のF3も悪手です。ここは**E3**が正しく（勝率67.7%）、左辺の黒を攻めながら下辺の地を確保できました。F3は白の勢力が効率的に働かず、黒に左辺を固める余地を与えてしまいます。

黒5手目 E4 (-11.1%)

5手目のE4も悪手です。ここは**G7**が推奨（勝率64.0%）で、右上の白に圧力をかけながらバランスの良い配置でした。

総評

この対局は序盤から中盤にかけて、双方に複数の悪手がありました。特に黒9のD7が決定的な悪手となり、本来優勢だった黒が一気に不利へ転落しました。

改善ポイント

1. **黒9手目:** 受けではなく、F6と割り込んで攻める姿勢が重要
2. **白8手目:** E7よりF7と厚く打つべき
3. **白6手目:** F3ではなくE3と左辺を攻める
4. **黒5手目:** E4ではなくG7と右上を重視

戦術的教訓

- **攻めと守りのバランス:** D7のような受け身の手は、相手に主導権を渡してしまう
- **割り込みの急所:** F6のような割り込みの手は勝負を決める重要な一手

- **序盤の方向性:** 序盤から辺に偏りすぎると、相手に主導権を握られる
- **形の急所:** E7のように弱点を残す手は後で突かれる原因になる

9路盤では一手の重みが大きく、攻めのチャンスを見逃すと形勢が大きく変わります。常に「攻め」の選択肢を考え、相手の弱点を積極的に突いていく姿勢が大切です。受けるべき時と攻めるべき時の判断が、勝敗を分けます。

AI分析ツール: KataGo (*max_visits=100*) 図作成ツール: sgftopng